

ヴァカス・スワラップ著
『ばくと1ルビーの神様』
(ランダムハウス講談社)

この題名にはなじみがないかもしれませんが、アカデミー作品賞を受賞した映画「スラムドッグ\$ミリオネア」の原作といえはわかる人も多いのではないのでしょうか。(原題は「Q&A」) インドのムンバイのスラムに育った少年ラム・ムハムド・トーマスがクイズ番組に出場して高額賞金を手にしますが、無学な少年が答えられるはずがないとして不正の疑いがかかれ警察の取り調べを受けます。その中で彼の生い立ちが明らかになり、強盗、売春、児童売買、貧困、カースト制度、イスラムとヒンズーの宗教対立、殺人、家庭内暴力、などの体験が語られます。

原作者はインドの現役の外交官です。インドは二十一世紀の大国と呼ばれ核保有国となり人口増加と経済成長を続けています。しかし、その一方で植民地時代の負の遺産と経済成長に伴

読書案内

う貧富の差などの社会の歪みを抱えています。彼が描きたかったのは現代のインドが抱えるこのような問題だったのではないのでしょうか。また、この作品が商業的に成功したのは、主人公の少年や祖国インドへの作者の愛情を感じられ、人々への眼差しが優しいからだと思っています。

今豊かな日本で学ぶことができるあなたも一度「学ぶ」とは何なのか考えてみてください。権利?義務?知りたいという内なる欲求?

なぜあなたは学ぶのですか?

余華 (Yu Hua) 著

『兄弟』 文革編・開放経済編 (文藝春秋)

923-Y2-1112

中国で最もノーベル文学賞に近い作家と呼ばれる人の問題作(特に「開放経済編」が)。

悲しいけど笑ってしまつ、あほらしいけど泣いてしまつ話。女子便所を覗こうとして肥溜め

に落ちて死んでしまった父親をもつ弟は、自身も同じことをして町の人に袋だたきにあいながらも、それをメシの種にしてしまつ。しかし、「文革編」は兄弟一家の悲惨な人生が描かれ、全体が悲しみのトーンに包まれている。「悲劇の旋律の中に喜劇の音節」(日本語版あとがき)が書かれているのが「文革編」ならば、一方の「開放経済編」は「喜劇の旋律の中に悲劇の音符」が浮かぶ。処女の殆どいない「全国美処女コンテスト」が開かれたり、兄は行商のために「豊胸手術」をしたり。喜劇度はエスカレートして、笑うというよりバカバカしくくらいだ。しかし、クソ真面目な兄が生活のために「豊胸手術」をするのはむしろ悲しくもつらい。

ところで、こんなテイストの話とつかにあつたあとこの小説を読んでからすつと気になつていたが、ある日突然「傷だらけの天使」だ!と思いついた。

三十年ほど前にTVでやっていた萩原健一・水谷豊主演のドラマシリーズ「その中の一シーン」大晦日に東北へ帰省したゲイバーのポンコについて、「ところで、あいつ女装してつたの

か、それともフツの格好してつたのか?」「女の格好だった」「ハー、かわいそうになオフク口が」。笑ってしまつけど、妙に悲しい。全篇こんな調子だった。

エアハルト・ベレンツ著

『5分でのしむ』

数学50話

(岩波書店)

410-B7-111

問1:あなたが毎日お世話になつているトイレトペーパー、くるくる巻き戻していくと一体何巻くらいあるのでしょうか?

北野高校で使っているトイレトペーパーは全長が100mです。さあ、どのようにしたら何巻あるか分かるのでしょうか?考えてください。

問2:とても大きく大きな更紙1枚の厚さは0.075mmです。この更紙をクラスのメンバー42人で一人につき1回ずつ2つ折りにしていくと、その厚さはどのくらいになるでしょうか。これは私が以前勤めていた学校の総合的学習の時間に取組んだ「生活の中の数学」で

出した問題の一部です。今まで「数学って何の役に立つの?」とよく聞かれたりしましたが、その気になればいたるところに習った公式を生かす場面があります。紹介した本もそんな場面が楽しく考えられるように書かれています。この本はドイツの全国紙に100回に亘つて連載された好評の新聞コラムの中から選りすぐりの50話を収録したものです。

夕方の込み合ったスーパーのレジ。たくさんあるどのレジも同じくらいの列の長さ。「選んで並んだ私の列はいつも進み方が遅い!」などとあなたのお父さんやお母さんが嘆いていたらあなたの知識をフル回転させて慰めてあげてください。この本にもそんな話が載っています。

しかもそこから発展して、込んだレストランで待ち客のために椅子をいくつ用意すればいいかという待ち行列理論にまで連れて行ってくれます。

府立高校の1クラスは40人。その中に誕生日が同じ人がいる確率はどれくらいだと思いますか?1年は365日もあるのだ

から、ほとんどないだろうと思
っているではありませんか。
これが意外や意外なのです。2
3年生にはラクラク問題、担任
をしていると皆さんの誕生日が
わかりますから、その結果をし
みじみ実感できます。

50話のどこから読もうと自
由、5分といわず、1話にしつ
くり時間をかけて数学の奥深さ
を味わってください。受験勉強
だけでは勿体ない。数学を楽し
んでください。

米沢富美子著 『まず歩きだそう』

(岩波ジュニア新書)
289-Y25-2
『猿橋勝子という生き方』
(岩波科学ライブラリー)
408-I4-1-157

今春ほぼ同時に発行された
この二冊の本の著者についてま
ず紹介しよう。著者は一九三八
(昭和一三)年吹田生まれ。小
学五年の時に受けた知能テスト
で府下全小学生の中で最高点を
とり、大阪府知事賞を受賞。吹
田第三中学から府立茨木高校に

進学(当時吹田市からは北野高
校に進学できなかった)。中学・
高校では数学に熱中。京都大学
理学部(一学年の女子学生はわ
ずかに四人)に入学し、湯川秀
樹の影響もあり物理学を志す。

大学院生の時、エスラント部
の先輩と結婚し、三人の娘を育
てながら研究者への道を歩む。
アモルファス研究の第一人者と
して活躍し、慶応義塾大学教授
時代に、会員の九七%が男性と
いう日本物理学会の会長に選出
される。以上の詳細は、に記さ
れている。著者のモットーは、
自分の能力に限界を引かない、
まず歩きだす、めげない、優先
順位をつける、集中力で勝負す
る、である。なお、二人で紡い
だ物語(出窓社 289 Y
25-1)は、を補った本である。
また八年前にNHKの「世界・
わが心の旅」という番組にも登
場している。

は地球化学の分野で世界的
な業績をあげ、女性として初め
て日本学術会議会員に選ばれた
猿橋勝子の初の評伝である。こ
の本を読むと時代や研究内容は
異なるが二人の共通点も見えて

くる。二人ともエイボン女性大
賞を受賞し、米沢は猿橋が創設
した猿橋賞を受賞している。著
者(米沢)は母親の介護と甲狀
腺がんの手術という大変な状況
の中でこの本を執筆している。
われわれに希望と勇気を与えて
くれる本である。

星 新一著 『ノックの音』

(新潮社)
918-H12-1-4

星新一が切り開いたといつて
もよいショート・ショートの大
表作品のひとつ。すべての物語
が「ノックの音がした。」で始
まり、わずかなページしかない
中で登場人物が織りなす数々の
人間模様が作者独特のタッチで
描かれている。

高校時代に初めてこの作品に
出会ったのだが、それまで読書
とは、長編小説を読破してこそ
意味があり、一種の「行」の
ようなものだと考えていた自分
に大きな衝撃を与えてくれた。
今、改めて読んでみると、時
代背景が今とは違つので、高校

生には若干違和感があるかもし
れない。それでも登場人物や場
面の設定がバラエティー豊かで、
次はどつなるんだらうという話
の展開のおもしろさに引き込ま
れ、一気に最後まで読んでしま
った。愛憎や欲など人間の性を
テーマに描いているのだが、最
後に必ず「落ち」があり、それ
が何とも言えない余韻を残して
いる。この「落ち」が作品の生
命線なので、中身については詳
しくふれることはできないが、
是非自分なりの余韻を味わって
ほしいと思う。

大作に挑戦し、感動を味わう
ことは、確かに読書の醍醐味で
はあるが、こういう作品を息抜
きとして気楽に読んでみるのも
読書の楽しみの一つではないだ
ろうか。ちなみに、3年生のリ
ーディングの教材に出てきた
Memento は星新一のショ
ート・ショートが原作である。(興
味のある人は図書館で探してみ
ては? 原題は「おみやげ」)



飯嶋 和一著 『出星前夜』

(小学館)
913-I48-1

タイム・トラベルとは、SF
の世界だけのものではありません。
すぐれた歴史小説は私たち
を自身の身体ごと時空の異なる
歴史的世界に運び込み、その世
界で生起し、展開する出来事の
「生き証人」にしてみまうほど
の力をもつものです。

飯嶋さんのこの大作を手にし
た私は、寛永十四年から十五年
にかけて、長崎・島原半島一帯
を息つく暇もなく駆け回ること
になりました。その結果、これ
まで「島原・天草一揆」につい
て抱いていたイメージ、薄っぺ
らな歴史認識は木端微塵に吹き
飛ばされてしまったのです。

昨年、大佛次郎賞に選ばれた
この作品には、面白いことに、
主人公たる人物がいるようにで
ないのです。でも、飯嶋さん
この小説のタイトルに関連して
あなたが最後に付記されたあの
大坂の医家こそ、私の心に鮮烈
に残る「主人公」なのです。